

# さくら教室だより

令和5年10月16日  
東久留米市立第九小学校  
校長 山本 真美枝  
特別支援教室 担任



秋が深まってきました

今年は記録的な猛暑と、いつまでも続くように思われた残暑でしたが、最近は朝夕に秋の気配を感じるようになってきました。気圧や気温の変化が激しい時期ですので、体調管理をしっかりとしながら、長い二学期を乗り切っていってほしいと思います。



## <第2回 個人面談のお知らせ>

10月30日(月)~12月4日(月)の日程で第2回さくら教室個人面談を実施します。基本的には学級担任、さくら教室担当教員、保護者の三者面談となります。

日程調整の用紙を近日配布いたしますので、期日までにご返答ください。また、できる限り、面談可能な日程を複数挙げていただきますと、他の保護者の方たちとの調整もしやすいため、お忙しいとは存じますが、ご協力よろしくお願ひします。

面談の内容としましては、さくら教室での様子、学級での様子、今後の退室におけるなどになると思いますが、限られた時間ですので、質問等がございましたら、事前にアンケート用紙にご記入のほどお願ひいたします。

## <体温調整が難しい時期になりました>



日中の気温が下がってきたとはいえ、まだまだ休み時間に体を動かすと汗をかく気温です。また、学級内も30人以上で一緒に生活をすると、それだけ室温があがります。

そこで、簡単に脱ぎ着することができるようなシャツやカーディガンなどが一枚あると体温調節に非常に便利です。

また、クーラーや扇風機の風の感触が直接肌に当たるのを嫌がる児童もいます。そういった際にも、肌を隠すことに活用できます。

児童にとっても、自分で暑くなったら一枚脱ぐ、寒くなったら一枚羽織るという判断をする練習になると思います。

## 【さくら教室のちょこっとコラム】

### ○これからの時代はレジリエンス

最近、レジリエンスという言葉をよく聞きます。レジリエンスとは、簡単に言うと「立ち直る力」です。

レジリエンスがあると、自分にとって困難な状況やストレスが大きい環境の中にあっても、その中で自分を適応させ、すぐに立ち直り、新しいチャンスを探ることができるようになりますと言われています。

これは、将来、大きな変化が次々に起こったり、グローバルな社会の中で自分とは全く異なる価値観に出会ったりするであろう現代の子どもたちにとって最も必要な力の一つであると考えられています。



誰でも失敗することは嫌ですが、失敗は生きていく上で避けては通れない経験です。

これからは失敗させないようにする教育ではなく、失敗したところから、いかに早く立ち上がり、新たなチャンスと成長をつかみとるのかということを教える教育が重要となってきます。

レジリエンスをもつために、楽観性、感情調節、人間関係、自己効用感、自己達成感の5つ要素が必要だと言われています。

いずれも、さくら教室のSSTなどで積極的に育成している要素です。コミュニケーション面における課題は、なかなかすぐに改善するということはありません。ゆっくりと長期的な視野に立った指導・支援による積み重ねが大事になってきます。

また、一度できていたことも、児童が成長するに伴い再びできなくなることもよくあります。成長は直線的ではなく、階段状にしていくイメージです。それでも、頑張ってきたことはしっかり積み重なっていきます。ぜひ、長い目でお子様の成長を見守りください。

